

6. 北陸（地域別調査機関：一般財団法人北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (北陸)	良くなる	高級レストラン（スタッフ）	・経済界や医学会の千名以上の全国大会が多数決まっている来春春まで、北陸新幹線開業の効果が現在の勢いで継続すると思われる。
		都市型ホテル（スタッフ）	・宿泊、宴会とも順調に予約が入っている。
	やや良くなる	一般小売店〔精肉〕（店長）	・思ったより影響は少ないのだが、それでも北陸新幹線効果は夏まで続くと思われる。今後、新幹線効果がなくなってきたときの対策が重要になっている。
		一般小売店〔鮮魚〕（従業員）	・現在大変良い状況なので今をさらに上回るとは思えないが、今くらいの活況は継続すると思われる。夏休みやお盆の間はゴールデンウィークと同等ではないかと業界の関係者はみている。
		百貨店（営業担当）	・この1～2か月の間に、アウトレットモールやショッピングセンターなど、かなり大型規模の新規出店が当地に2～3店舗出店する。小売全体では消費が喚起され、売上は微増すると予測されるが、消費人口は変わらないので、近い将来にはパイの食い合いも懸念される。
		百貨店（営業担当）	・7月は夏休みに入りセール月であることから、地元客、旅行者共に財布のひもが緩むと予想され、売上が増加すると思う。
		スーパー（総務担当）	・製造業などの夏のボーナスの増加が見込まれているため、景気も少し良くなるのではないかと。
		衣料品専門店（経営者）	・そろそろボーナスの話が出ている。春の質上げは期待できるというのがもっぱらの噂であり、そうなってほしいと思っている人が多いようである。果たしてどうなるのか。都会と地方の景気の良し悪しには、かなりの温度差がみられ、地方活性化対策を考えてほしいと思う。
		家電量販店（店長）	・夏物商品のエアコンでも、省エネ性の高い高単価商品の売行きが良くなりそうである。
		家電量販店（店長）	・4Kテレビの売行きが伸びてきている。また、エアコン、クリーナーなどの高付加価値商品の需要が伸びてきている。
		乗用車販売店（従業員）	・夏に全社合同イベントを企画している。集客及び売上増加に期待している。
		その他小売〔ショッピングセンター〕	・客はガソリン単価や食品の店頭価格は気にしているが、消費低迷感はない。新製品、安心安全、話題品などに関心が高いようだ。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・今春から買上客数、客単価、来館者数の全ての数値が改善している。問題は人手不足であり、販売ロスが懸念される。
		一般レストラン（店長）	・北陸新幹線開業効果は実感できないが、旅館の宿泊予約が増える傾向にあると聞く。
		一般レストラン（統括）	・北陸への来訪者が増える要素が多く、その影響で飲食業界は来客数の増加が見込める。
		観光型旅館（経営者）	・北陸地区が北陸新幹線開業でマスコミに露出されることにより、関西や中京地区からの客も増加している。
		都市型ホテル（役員）	・宿泊部門は今後も順調に推移する。宴会部門において、大会やコンベンションの増加により、全館ではやや良くなる見込みである。
		旅行代理店（所長）	・北陸新幹線への乗車が一巡するまでは旅行需要は増加傾向にある。以前は富山県からアクセスが良くなかった長野や軽井沢への旅行が増加する。
		タクシー運転手	・今は北陸新幹線で東京に遊びに行ったため小遣いがなくなったという声があるが、それが解消されれば回復すると思う。
		通信会社（役員）	・株高による消費者マインドの回復と競合事業者の営業方針の変化もあり、従来落ち込んでいたシェアの回復に期待している。
		通信会社（営業担当）	・買い控え時期も終わり、検討している客が購入につながる可能性が高い。また、2年前に他社へ乗換えした客が戻る時期でもあり、期待できる。
		通信会社（役員）	・競合の大手通信事業者の攻勢が若干弱まったため解約数が減り、純増数が増えることが予想される。
美容室（経営者）	・前年の売上を上回る月が徐々に増えてきている。		
住宅販売会社（従業員）	・客の動きが顕在化してきた。また、金額も大きなものが増えてきたことがあり、今後契約件数及び契約金額共に増えてくることは間違いないと思われる。		
住宅販売会社（従業員）	・徐々にエコポイントもお客様に浸透しつつあるので、受注も増えてくると思う。		

変わらない	商店街（代表者）	・一気に夏が来た感じで夏物衣料も動き出しているが、ここ数年の「猛暑」が早く訪れるとまた人出が少なくなり、売上減も予想される。
	商店街（代表者）	・変わらないとしたが、一部の商店主は7月から県内でアウトレットモールや大型ショッピングセンター、会員制大型量販店など、大型の店舗がいくつも開店するので、この影響が相当あるのではないかと危惧する方もいる。また、北陸新幹線開業により、県外へ買物に出る客も増加するのではないかと危惧する方もいる。
	スーパー（店長）	・食品関係の原材料の高騰と、値上げラッシュが多く予定されている。特売での価格を安く打ち出せなくなることから、より厳しくなる恐れがある。
	スーパー（総務担当）	・北陸新幹線開業による好調が継続している状況と感じられる。また、小売業の採用では売り市場が続いている。
	コンビニ（経営者）	・気温の上昇につれて例年どおりの水準の数字が続くと思っているが、それを上回るかと言われると、そういう要素は見いだせていない。
	コンビニ（店長）	・良くなる要因がないが、売上が下げ止まり、悪くなる要因も少ない。新規出店も最近飽和しており、新たな出店計画もないようなので、しばらくは同じ売上で推移するのではないかと感じている。
	衣料品専門店（経営者）	・衣料品は引き続き好転する要因が見当たらない。販路なり取扱商品なりに工夫をしないと、売上確保は難しいと思われる。
	乗用車販売店（経営者）	・地元で大きな倒産が発表されたせいか、影響を懸念する話が多く出ており、厳しい状況がまだ続くと思う。
	乗用車販売店（役員）	・新型車の効果もあまり期待できないので、主力車種のモデルチェンジなどが予定されている年の後半までは現状維持でつないでいく。
	自動車備品販売店（従業員）	・新商品への関心度が高く、低迷していたナビゲーションや問い合わせが増えてきたドライブレコーダーなどで期待が持てる。
	住関連専門店（店員）	・若干上向きとはいえ、市場からみても地方への景気好転の波及はまだ少し時間がかかるように感じる。また、耐久消費材の業界の例年の動向からみても、ちょうど端境期となり、なかなか売上が上がらない時期である。
	その他専門店〔酒〕（経営者）	・ただ単に変わらない。今までずっとそうだったように、変わらないと思った。
	スナック（経営者）	・客が旅行に行く予定などがあり来店できないという話をよく耳にするし、相変わらず国際的、社会的要因による変化も考えられ、楽観はできない。
	観光型旅館（スタッフ）	・予約保有の前年比は、5月は113%であり、6月以降は180~210%で推移している。
	タクシー運転手	・まだまだ北陸新幹線効果が続き人出はあり、週末を中心にタクシー利用も引き続きあると思う。非常に良い状態が変わらず続くと思う。
	通信会社（営業担当）	・新生活の需要も完全に落ち着きを取り戻し、来客数も去年と変わらない推移となり、それに伴った販売数の動きに大きな変化を感じられない。
	通信会社（店舗統括）	・新商品に期待したいが、今のところ客からの問い合わせも多くはない。
	テーマパーク（職員）	・北陸新幹線の開業効果による追い風と、インバウンド客の増加という、良い傾向はあるものの、全体としては5月と同様の状況が、この先2~3か月続くものと思われる。
	その他レジャー施設（職員）	・世の中、本当に賞与が回復して多くなっていくのか、疑問である。一般中小企業では賞与回復はなさそうである。
住宅販売会社（従業員）	・商談日が集中することと打ち合わせが長引く傾向から効率面で問題が生じており、結果として受注数字の底上げにつながらない恐れがある。	
住宅販売会社（従業員）	・潜在的需要は大きいですが、契約を決意させる要因がいまひとつ足りない。顧客に迷いが見られる。	
やや悪くなる	商店街（代表者）	・7月のアウトレットモールや大型ショッピングセンターなど新しい施設の完成で、動きがしばらく変わると予想される。当分は珍しさが優先されそうである。
	一般小売店〔事務用品〕（店員）	・閑散期になり、しかも商品が値上げ改定されるため、必要な商品しか購入されない感がある。
	百貨店（売場主任）	・アウトレットモールが7月16日に173店の規模で開業、大型ショッピングセンターが7月14日開業、会員制大型量販店が8月に2店舗開業と、当地と隣県で大型商業施設が相次いで新規開業し、集客面において競合激化となる。

		百貨店（営業担当）	・アウトレットモールや大型ショッピングセンターのオープン当初はそちらに客が流れると思われる。
		コンビニ（経営者）	・以前はたくさん買う客もいたが、最近はまとめ買いの客があまり見受けられない。目的に応じてその場所で買う客が多いように見受けられる。また、コーヒーやドーナツなど好調な商材もあるのだが、それだけで帰る客が結構多くいる。
		コンビニ（店舗管理）	・人手不足が人件費、求人費の高騰を招いている。この傾向はさらに悪化すると予想している。
		通信会社（職員）	・いよいよ設備投資がひっ迫してきている。
	悪くなる	-	-
	良くなる	-	-
企業 動向 関連	やや良くなる	繊維工業（経営者）	・得意先からの話では、先行きの消費動向について、やはり多少は勢いがあるという予想がある。したがって、当面は期待できると思っている。
(北陸)		化学工業（総務担当）	・受注量が増える見込みである。
		プラスチック製品製造業（企画担当）	・ベースアップ実施の企業が多く、株価の上昇などもあり、消費動向は着実に上昇すると考えられる。
		一般機械器具製造業（総務担当）	・省エネルギー設備補助金の採択により国内市場の伸びが期待できる。
		精密機械器具製造業（経営者）	・総量のトレンドとしては微増ではあるが、国内有名百貨店系などから今後に向けた積極的な商談の件数などが増えてきている感じがする。
		通信業（営業担当）	・通信機器の販売が徐々にではあるが、上昇傾向にある。セキュリティ関連商品も今の時代を反映するかのごとく、高い伸び率となっている。
	変わらない	繊維工業（経営者）	・国内消費の回復には期待がかかるが、まだ時間がかかりそうだ。
		金属製品製造業（経営者）	・2～3か月先の受注の入り具合をみて、そのように思った。
		一般機械器具製造業（経理担当）	・円安状況は輸出にとって追い風だが、新興国の景気減速に不安がある。
		金融業（融資担当）	・北陸新幹線開業後、落ち着いた時点で景況感を見定めていく必要があるとの声も聞かれる。
		金融業（融資担当）	・富山県は観光客が限定的で、東京のビジネス客が日帰りするため、ホテルの稼働率も平日が低下してきた様子である。北陸新幹線効果の負の面も出始めた。
		不動産業（経営者）	・2～3か月先になると業者も少し仕事が減るだろうという話があり、また現在は個人客の動きが少し活発なのだが、2～3か月先の情報は少ない。
		新聞販売店〔広告〕（従業員）	・昨年の5月は消費税増税後の買い控えが始まった売上の悪い月であったにもかかわらず、今年も昨年を上回ることができない状況である。しばらくはこの状況から脱却できないのではないかと懸念している。
		司法書士	・不動産登記関連では、相変わらず住宅ローンの借換えの案件が多く、住宅新築の案件が少ない。
	やや悪くなる	建設業（総務担当）	・工事発注量に地域間の格差が生じ始めており、今後地域によっては受注環境が徐々に厳しさを増しつつあると思われる。
		輸送業（配車担当）	・円安により燃料費などのコスト負担が増え、利益が上げられない状況になっている。
	悪くなる	食品製品製造業（役員）	・為替の影響にて輸入原材料が上がってきており、今後大きく収益を圧迫していくものと思える。社内ではデフレ時からコストの見直しが続いており、コスト削減に関しては今後大きく期待が持てない。業界内で改めて値上げの話が出てくるものと考えられる。
		建設業（経営者）	・県の今年度公共事業費予算が発表されたが前年度とほぼ同じであり、期待していた4～5月の発注もほとんどなく受注に至らなかった。この影響が下期にボディブローのように効いてくるだろう。
	良くなる	-	-
雇用 関連	やや良くなる	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・求人広告を出している企業に話を聞くと、どの会社も一致して求人広告のレスポンスが目に見えて悪くなっているという感想を言っている。媒体としての問題だけでなく、他媒体を併用している企業からも同じ感想が聞かれた。人手不足が形になって出てきているように思われる。
(北陸)		職業安定所（職員）	・住宅関連企業が消費税再増税前の駆け込み需要やエコポイント活用の受注増を見込み、求人を出すなど活発な動きがある。有効求人倍率は3月の1.55倍から4月は1.41倍と減少したものの依然として1倍を大きく超えている。
	変わらない	人材派遣会社（役員）	・専門職の人材確保が厳しい。

	人材派遣会社（社員）	・人手不足感は慢性的なものとなってきたことから、状況の変化はしばらく難しい。
	求人情報誌製作会社（編集者）	・新規出店による求人も増えているが、極端に増える見込みがない。
	職業安定所（職員）	・新規求人数、新規求職者の動きから見て、現在の状況が続くと判断できる。
	職業安定所（職員）	・業績が良くなるという事業所がある一方で、依然として先行きを不安視している事業所もあるため。
	民間職業紹介機関（経営者）	・求人は増えても、応募者との質的レベルでマッチングする割合が低下している。
やや悪くなる	-	-
悪くなる	-	-